令和3年度　全国体力・運動能力、運動習慣等調査における

北九州市立　　千代　　小学校の結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、令和3年6～7月に、5年生を対象として、「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。
この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。
本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。運動習慣は、学校のみでなく、家庭で運動を一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立に向けた取組の充実をお願いします。

※　本年度、本市においては「体力・運動能力」についての調査は実施していません。

1．全国体力・運動能力、運動習慣等調査の目的

⑴　国が全国的な子供の体力の状況を把握・分析することにより、子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。

⑵　各教育委員会が自らの子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、子供の体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

⑶　各学校が各児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康に関する指導などの改善に役立てる。

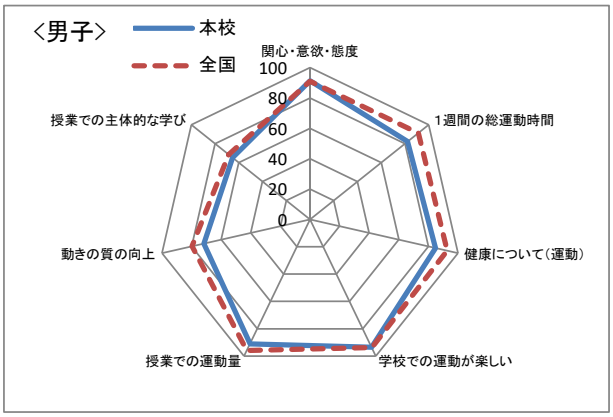
2．本市における調査内容

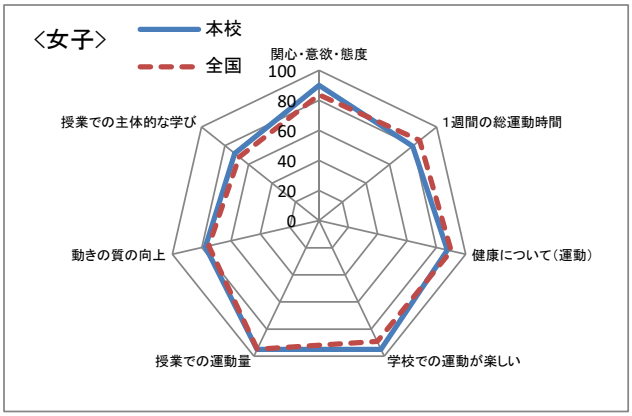
⑴　質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

3. 運動習慣や生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査レーダーチャート





質問紙調査の結果分析
・9割近くの児童が「運動やスポーツが好き」「体育科の授業は楽しい」と回答している。休み時間に元気よく体を動かしたり、体育科の学習に意欲的に取り組んだりする児童の姿が多く見られる。 ・「学校の体育科の授業時間以外でも運動やスポーツを行っている（1週間に60分以上）」と回答している児童の割合が全国平均よりも低い。新型コロナウイルス感染症の影響もあり、児童の運動する時間が減少している。

4. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科（授業）に関する取組（全校で・学年で・学級で）

・体育科の学習で、引き続き準備運動の充実を図ったり、一人一人の運動量をしっかりと確保したりすることで、児童に体を動かす楽しさを味わわせるとともに体力の向上を目指す。

② 運動習慣等に関する取組（1校1取組）

・児童会活動を中心とした取組（なわとび・マラソン週間など）の充実を図り、楽しんで運動に親しむ習慣の定着を目指す。また、このような取組を、学年・学級通信等を通して家庭に発信し、運動や健康の大切さを啓発していくことで、学校と家庭が一体となって運動習慣の確立を推進していく。